

ここに通信第九十六号

平成十五年三月二十日

〒九三三〇八〇四 高岡市問屋町四十

有限会社 中野孝次氏

TEL 〇七六六一二五二二五

FAX 〇七六六一二五二二五

E-mail oshoheng@poem.ocn.ne.jp

いつもお世話になりありがとうございます。

一 作家、中野孝次氏の文

私の『ここに通信』を読んで色々な意見や励ましを頂いています。その中には素晴らしい論文やエッセイの紹介も少なくありません。その中で、これは是非皆様にご紹介したい、と思うものがありましたので以下に記します。

著者は作家、独文学者の中野孝次氏。今年一月十九日付けの日本経済新聞の文化欄に『老年をたのしむ』と言う題名で掲載されました。

老年とはどうやら悪い年齢とは限らないように、もしかすると人生の一番いい時かもしれないぞ、とあるところから私は考えるようになった。老年にはむしろ悪い面は多々ある。何よりもからだがガタがくる。目は衰え、歯は抜け、歩行その他の身体能力は急速に劣化する。その面から見れば老年はたしかに悪い。歓迎すべからざる年齢と言わなければならない。

が、それらすべてを補ってなお余りあるよい面が、老年にはあったのである。それは時間のすべてが自分のもので、何をしようがしまいが自分の自由だということだ。これほど恵まれた状況は人生に於いてなかった。十代はいやでも受験勉強に打ち込まねばならなかったし、社会に出てからは勤める組織に時間とエネルギーの大半を捧げねばならなかった。それが今や時間の全部が自分の自由になり、自分のためにだけ生きていいようになったのである。これほどの恵まれた時がまたあるだろうか、と私はよろこびに酔い痴れた。

もともと誰しもが私と同じように感じているわけでもないことに、すぐ気付いた。人によって、それをよるこぼす、自分を社会で必要とされなくなった無用者と感じて、虚脱感、無力感に陥る人もいたのだ。老年の受け取り方もさまざまだったのである。

だが、私はそれを完全なる解放と見做し、これからは自分の心の充実のためだけに生きよう、とうち、暦や時計の時間によって人の生きていく時多くなると感じ、短く、短い、という感じがする。『ここに通信』をお届けしていた方々は六十人から、見なくなった。世間に属している時は情報と唐の禅僧は言う。

そして次第に、今までは義理で出ていた冠婚葬祭や、会合や、夜のパーティに出なくなりました。テレビも、その目で見るとまことにくだらなく見えたが、それはそういう時間観念で時をはかるからで、見なくなりました。世間に属している時は情報と唐の禅僧は言う。

そして時間のほとんどを読書と執筆と好きな本に捧げだした。読書もハウツー物などはぜんぜみ見ず、現代文学もほとんど読まず、読むのは次に日本、古代中国、ローマ、西欧の古典ばかりになっていった。これらにのみ限らない昂揚とよろこびを覚え、それを読むとき自分は本当に生きていると感じた。

自分の好きに生きることに徹底した果てに、夜七時に寝て、朝は四時か五時に起きるのが習慣になった。私がそれを言うの大抵の人は呆れるが、それが私の自然に叶っているのだから変える必要もない。夕方は晩酌三合半を楽しんで、ことりういう時間観になり切っている。『日々是好日』は私の実感なのだ。だから私には、本当のとき、去年も来年もない。

が、そんなふうにして、来る日も来る日も同じ庭椅子に座って椿や馬酔木の葉のキラキラ光るのを見、鳥が辛夷の梢で囀るのを聞き、犬たちが陽だまりにながながながと寝ている中にいれば、心は閑かに満ち足り、これ以外に何の求めることがあろうぞ、という気になる。そして近頃熱中して読んだのはこれだな、と思う。

年をとると一年があつという間に過ぎてしまふ、と老人はよく言う。これは私の実感でもある。本当に一年の過ぎるのが速い。だが私は『鈴木大

拙全集』を何度も読み、それに導かれて唐代禅匠の新しいノートパソコンでにわかには作りました。その語録『景德伝灯録』とか『五灯会元』に親しむ年を取りますと新しい機械に熟れるのに、時間が計るのは間違いだ、と思うようになった。

の未来に向かつて棒のように延びたものである。人はその棒の中の七十年か八十年を生きていく。過剰な欲望は、短く、短い、という感じがする。『ここに通信』をお届けしていた方々は六十人から、見なくなった。世間に属している時は情報と唐の禅僧は言う。

私は老年になつての日々を重ねるうち、そういうふうな時間観になるように自分を訓練し、いまのそれは「今ここに」という、永遠に直接した絶だと思ひました。

つまり、老年はそういう意味で、私にとって人生の最良の時なのである。冬の今は朝起きるとまに伴い物が残り、医療技術の発達も加わり人口が増えます。そこに貧富の差が生じ、それがどんどん大きくなり人間同士の摩擦を産むのは当然です。

二 パソコンが壊れました

ここに通信第九十六号も完成し二十日にお届けするだけになっていたので、十九日に或るトヨカかり、一切の記録が消滅すると聞きショックを受けました。それでどうせ凡てゼロに戻るなら新しいハードに買い換えることにしました。この

三 遂にイラク攻撃が始まりました

今日（三月二十日）遂に米英によるイラク攻撃が始まりました。その是非については各国において意見が二分されています。私自身、どちらの言い分も尤もだと思ひます。

「戦争は物を破壊し人命を奪い忌み嫌うべきもので、どんな理由があろうと起こすべきではない」とは言うまでもありませんが、それでは「非人道的な生物・化学兵器、大量破壊兵器を造って、世界のテロリストに密かに売っていることが、ほぼ確実な独裁者とその取り巻きに、好きな様にさせてもいいのか」と言われると、そんなわけにもまいりません。

平和が続けば産業が活発になり生産技術の向上に伴い物が残り、医療技術の発達も加わり人口が増えます。そこに貧富の差が生じ、それがどんどん大きくなり人間同士の摩擦を産むのは当然です。

皆様方のご意見をお待ちしています。

有限会社

中野 商店

代表取締役

中野 昌弘